



【掲載資料】写真：30620014581 合同生年祝い(1973年)

沖縄では、生まれてから12年ごとの干支がめぐってくる年に「トゥシビー」と呼ばれる生年祝いで、健康祈願が行われます。生年は数え年で数えるため、13歳のジュウサンユエーや97歳のカジマヤーのお祝いは、今もよく聞くかと思えます。

こうした祝い事は、かつて家庭を中心に行われていました。多くの人々を招いて祝宴を開く場合、一つの地区に数名の該当者がいると、それぞれに招かれることもありました。そのたびに経費の負担が重なるため、冠婚葬祭の出費節約等を目的とした生活改善運動が戦後に始まりました。

北谷村では、1957年（昭和32年）から生活改善運動の一環として、北谷村役場主導で合同生年祝いを実施していました。しかし1974年（昭和49年）頃には、家計に配慮したお祝いができるようになったとの見解から、合同祝いはなくなり、生年祝いは再び家庭の祝い事となりました。



写真を公文書館
検索システムで探す



公文書館
ホームページ

お問い合わせ 公文書館 ☎982-7739

公文書館では北谷に関する資料を収集しています。資料の種類や新旧に関わらず、ご寄贈や情報提供などのご協力をお願いします。